

ライフスタイルを変えよう!

暮らし方の転換による取組

「希望の綿」ふくしまオーガニックコットンプロジェクト (NPO法人ザ・ピープル)

東日本大震災で大きな被害を受けた福島県いわき市では、東京電力福島第一原子力発電所事故による風評被害や農業の担い手不足などが原因で、手入れが行き届いていない畑が広がっていました。NPO法人ザ・ピープルでは、2012年から「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」を開始し、いわき市内など21か所の畑を活用して、農業や化学肥料にたよらない有機栽培(オーガニック)でコットンを育てています。栽培されたコットンは「希望の綿」と名付けられ、Tシャツなどの商品に加工して、インターネットなどを通じて販売しています。中でも注目されているのが、「コットンベイブ」という小さな人形です。人形の中に種付きのコットンが入っていて、「買った人は、それぞれの場所でコットンを育て、収穫した綿を送り返す」という試みを行っています。これらの取組を通じて、農業の再生や地域の活性化、仕事を生み出すことにより、福島県の復興に取り組んでいます。

モノを買うことは、未来を選ぶことにつながります。この取組のように、環境への負荷を減らして育てられたコットンの服などを選ぶことは、自然と共生し、豊かな社会を実現する力となります。

● いわきオーガニックコットン 収穫祭



● コットンベイブ



● コットンでできた製品



資料：NPO法人ザ・ピープル